

平成 30 年 9 月 18 日（火）、理学部創立 50 周年を記念したデザイン作品の表彰式を理学部長室にて執り行いました。

理学部創立 50 周年記念行事企画委員らによる厳正なる審査によって選ばれた作品を製作された 5 名の学生に参加賞として図書券が授与された後、柳澤理学部長、渚企画委員長、学生らによる懇談会を行いました。

学生らから作品に対する想いや製作方法などを伺った柳澤理学部長は、「理学部にこのような素晴らしい才能を持つ学生が多くいることは、大変誇りに思います。」と学生らに労いの言葉をかけておられました。



授賞された作品は、理学部創立 50 周年を記念して製作される冊子やポスター、ノベルティ等に使用されます。

## 理学部創立 50 周年記念式典 イラスト授賞者一覧

〔ポスター・記念誌表紙に採用〕

中島 由介 (なかじま ゆうすけ)

融合理工学府先進理化学専攻生物学コース 2年

千葉大学のコミュニケーションマークを元にして、理学部の5つの学科の躍進が、物の真実を規定する唯一性、すなわち「理」を明らかにして欲しいという想いを図案化しました。



〔授賞作品〕



## 〔ノベルティ・記念誌の背景に採用〕

佐藤 あやめ（さとう あやめ）

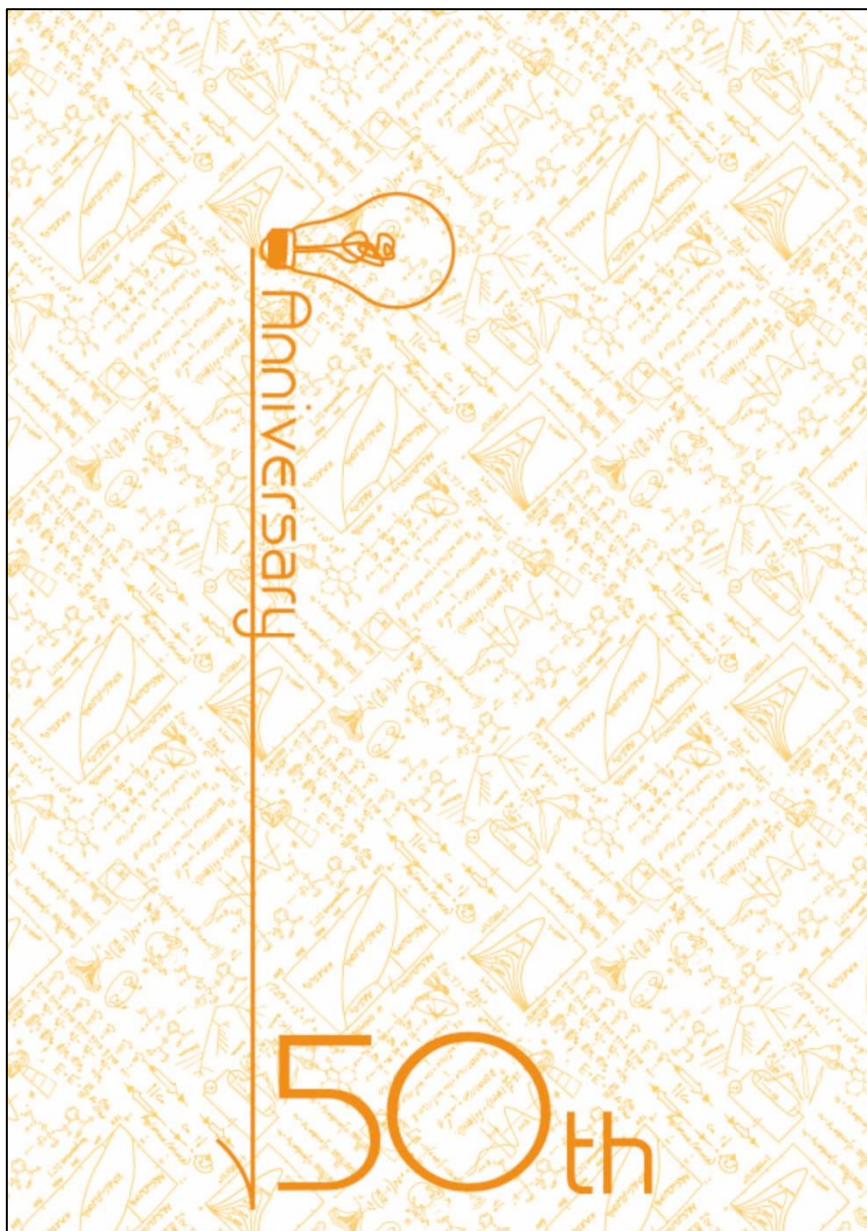
理学部生物学科 3年

理学部の歩んできた50年を照らす光と、千葉大学理学部の卒業生や在学生の持つ閃きを同時に表すモチーフとして電球を選びました。

背景の図柄は主に各学科の先輩や後輩に取材協力いただき、学部生が実際に触れる理論や概念、グラフを教えてもらって一つ一つ手描きしたものです。全体的にはすっきりとしたレイアウトを心がけましたが、同時に背景をよく見れば理学部5学科で扱われるアイデアがちりばめられていることが判る遊び心のあるデザインとなっています。



## 〔授賞作品〕



〔優秀賞〕

栗山 裕良史（くりやま ひろよし）

理学部生物学科4年

千葉大学のシンボルマークと同じ色で彩られた5つの三日月は、理学部が擁する5つの学科を表している。夜空に輝く月は多くの人々の関心を集める自然現象のひとつである。なかでも、三日月は満ちるまで未だ時間のかかる月齢であることから、我々の飽くなき探究心や完全には及ぶことのない学問への理解、それだけでなく、三日月より早い2日の月はほとんど見るできないことから、地道な研究の末にある発見のきらめきを表している。50周年を示す50のシンボルの0と、その右下から伸びる線を巨人の顔と肩に見立て、その肩の上に5つの三日月に表される我々を配置することで、科学的方法に適用されるメタファーである「(我々科学者が) 巨人の方の上に立つ」様を表している。



〔授賞作品〕

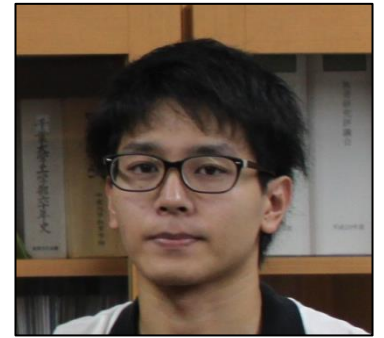


## 〔優秀賞〕

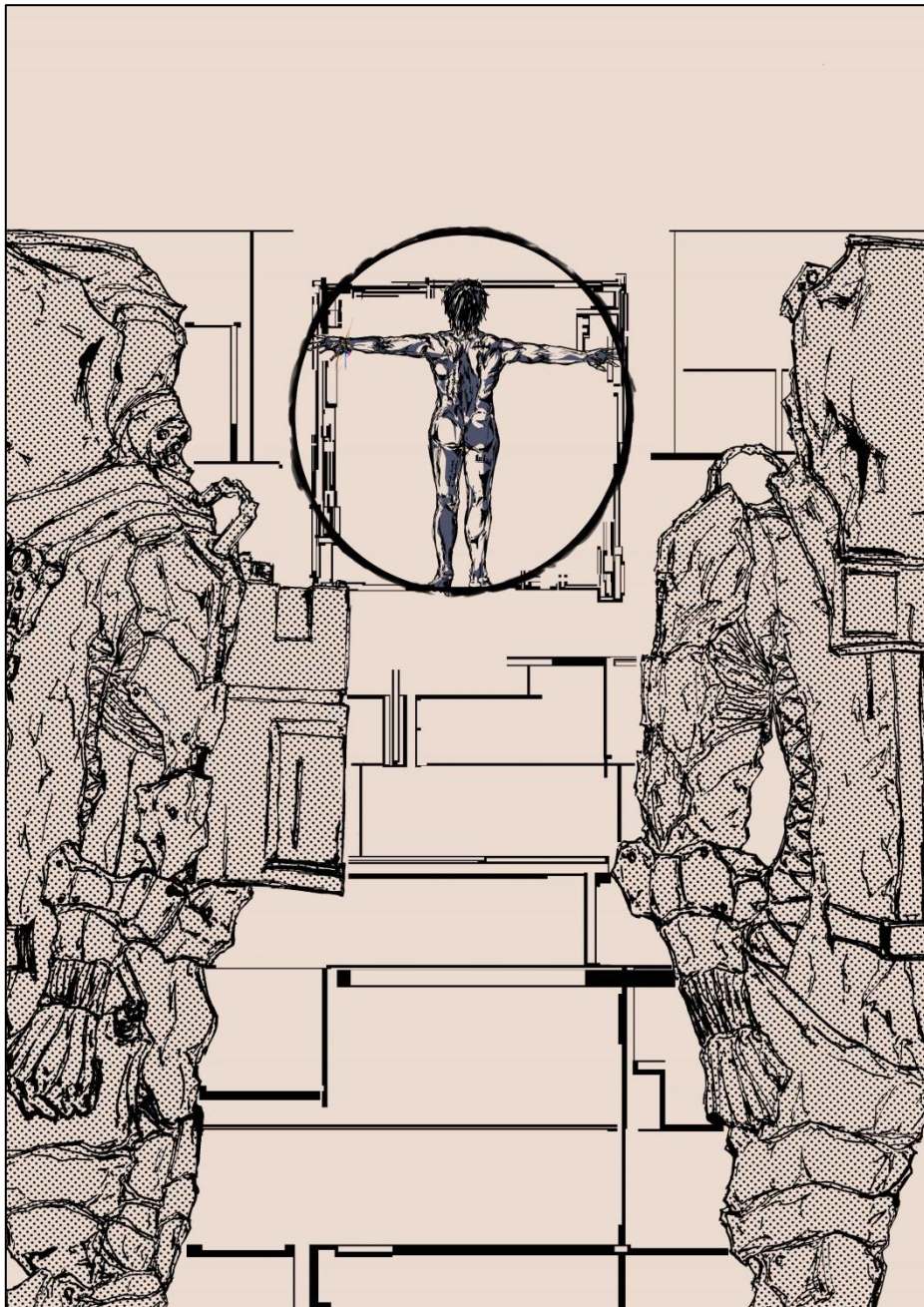
富永 樹実（とみなが じゅま）

理学部生物学科3年

私は科学技術を「未知の世界に踏み出すための力」と捉えているので、その象徴でもある宇宙飛行士をモチーフにしました。ただ、千葉大学が宇宙に行くわけではないし、現在の船外活動服などをそのまま描いてもシルエットがぼやっとしてしまうので、気密性の高いパワードスーツという感じでアレンジしてみました。



## 〔授賞作品〕



〔優秀賞〕

吉岡 拓郎 (よしおか たくろう)

理学部地球科学科1年

「科学研究の先進」を矢印で表現しました。図形と文字は角形を基調としたデザインにし、科学の洗練さ、真理を突き詰めるスマートさなどを表現しました。「理学」と「50周年」をテーマに、その両方を強調・協調するように science の SC と 50 を特徴付けて描きました。



〔授賞作品〕

